

**大学でも進む節電対策 自然エネルギー導入も増加**  
**第3回エコ大学ランキング No.1 エコ大学は名古屋大学に！**  
**—第2位 岩手大学 第3位 郡山女子大学—**

若者の環境NGO「エコ・リーグ(全国青年環境連盟)」は、日本の167大学法人に対して大学の温暖化・環境対策の現状に関する「全国大学環境対策実施状況一斉調査 2011」を実施いたしましたので、調査結果をお知らせいたします。また、その調査結果により決定した「エコ大学ランキング」を発表いたします。

3年目となる今回の調査は、全国744大学法人を対象にアンケート調査を行い、そのうち167大学法人から回答がありました。第3回エコ大学ランキングの結果は、全国総合**第1位に名古屋大学**、**同2位に岩手大学**、**同3位に郡山女子大学・同短期大学部(以下、郡山女子大学)**が入賞しました。また、調査結果から今年の電力需要逼迫の影響などにより節電・省エネ対策の実施が進んでいることや、2010年夏の猛暑の影響などによるエネルギー消費量の増加などが明らかになりました。

なお、本年12月15～17日に開催される「エコプロダクツ 2011」(主催: (社)産業環境管理協会・日本経済新聞社、会場: 東京ビックサイト)にて「第3回エコ大学ランキング」の表彰式を行います。

### ■総合&国公立部門1位 名古屋大学、私立大学部門1位 郡山女子大学

有効回答である167校のうち、総合1位は名古屋大学(575.5点)となりました。昨年度のランキングでは総合5位だった名古屋大学は、猛暑日が続いた年となった2010年においても設備の更新などによってエネルギー消費量を前年度から大幅に削減するなどして順位を上げ、大規模大学として初めての総合第1位を獲得しました。また、昨年度は総合6位、私立部門2位だった郡山女子大学が、太陽光パネルによる自然エネルギーの積極的な導入や、省エネ・温暖化対策の推進などによるエネルギー効率の向上などにより私立大学部門第1位、総合順位でも第3位となりました。

### ■大学のCO<sub>2</sub>総排出量は「12%増加」

今回の調査の結果、2010年度のCO<sub>2</sub>排出量の削減量が把握できた164校の内、排出量が前年度(2009年度)より減少した大学はわずか21校(12.80%)に留まり、逆に10%以上増加した大学が26校(15.85%)にのぼることが明らかになりました。また、今回の調査で判明した164校のCO<sub>2</sub>総排出量は281万tCO<sub>2</sub>で、これは日本全体のCO<sub>2</sub>排出量<sup>1</sup> 11.45億tCO<sub>2</sub>の約0.25%に当たります。2009年度比で12.28%増加した要因として、2010年夏の記録的猛暑の影響などが考えられます。<sup>2</sup>

### ■電力需要逼迫の中での大学の節電・省エネ対策

今回の調査は、本年7月から8月にかけて調査を行いました。調査の結果、特に照明及び空調の運用改善や啓発活動での省エネ対策実施率が向上している大学が多く見られ、今夏の電力需要逼迫に際して大学でも節電・省エネ対策が進められている状況が明らかになりました。

<sup>1</sup> 政府が発表する最新のデータ (2009年度)

<sup>2</sup> 但し、本調査で使用するCO<sub>2</sub>排出量のデータは、各大学が提出したエネルギー使用量に全国統一の係数を使用して換算した暫定的な排出量であり、各大学が公表する実際の排出量とは異なる場合があります。

## 第3回エコ大学ランキング結果概要

総合順位(1000点満点)全 166 校

順位 (前年)	大学名	国公立	総合 得点	エネルギー CO <sub>2</sub>	環境対策 実施状況	環境 マネジメント	学生との 協働・教育
1 (5)	名古屋大学	国立	575.5	181.7	206.8	70.0	117.0
2 (2)	岩手大学	国立	538.1	131.3	237.8	46.0	123.0
3 (6)	郡山女子大学・同短期大学	私立	517.0	213.0	206.8	44.0	53.3
4 (3)	日本工業大学	私立	508.4	127.2	246.2	44.0	91.0
5 (12)	成蹊大学	私立	480.0	112.1	222.2	44.0	101.8
6 (45)	愛知教育大学	国立	469.1	246.1	164.0	23.0	36.0
7 (1)	三重大学	国立	467.2	31.2	235.0	61.0	140.0
8 (13)	フェリス女学院大学	私立	452.7	126.4	200.2	29.0	97.2
9 (9)	千葉大学	国立	452.1	26.1	251.0	61.0	114.0
10 (7)	東京都市大学	私立	447.0	68.0	243.0	46.0	90.0
平均値			262.9	75.0	132.3	15.0	40.6

### ■全体の傾向と分析

調査結果を分析した結果、全体の傾向として昨年度の調査と比較して各大学の対策状況が改善していることが分かりました。2010年夏期の記録的な猛暑などの影響により、多くの大学でエネルギー使用量が増えた一方で、節電要請などにより下位グループの対策実施状況が大きく改善しました。そのため各大学の得点差が小さくなり、全体として環境対策が進んでいることが分かりました。

各大学のエネルギー使用に伴うCO<sub>2</sub>排出量は、2010年度において前年度と比較して増加している傾向がみられました。調査年度のCO<sub>2</sub>排出量の削減量が把握できた164校の内、排出量が減少した大学はわずか21校(12.80%)に過ぎず、10%以上も増加した大学については26校(15.85%)にも及びました。CO<sub>2</sub>排出量が把握できる164校の総排出量は281万t-CO<sub>2</sub>で、これは日本全体のCO<sub>2</sub>排出量11.45億t-CO<sub>2</sub>の約0.25%に当たります。このデータと学生数を基に全国744大学の値に換算すると、日本国内の「業務・公共」部門の総排出量9,357万t-CO<sub>2</sub>の8.80%にあたります。

### ■設備更新でエネルギー大幅削減、進む自然エネルギー導入

総合第1位となった名古屋大学(愛知)には、工学部・理学部など実験系設備や医学部および附属病院などがあり、エネルギー消費量が多いことから、空調システムの運用改善及び設備機器の更新などで省エネを行うESCO事業を導入しました。その結果、猛暑が続き空調の負荷が高まった2010年においても都市ガスの使用量を半減させエネルギー使用量全体でも約5%削減を達成しました。また、同大学は多くの他大学の担当者から参考にされていることが今回の調査で明らかになりました。対策が難しい大規模総合大学において、積極的に独自の取り組みを行っていることが評価につながったと考えられます。

総合第2位となった岩手大学(岩手)は第1回のランキングで総合第1位、第2回でも総合第2位となるなど常に上位の成績を収めています。同大学は優れた環境対策実施状況や学生組織である岩手大学環境マネジメント学生委員会との協働体制などを中心に全カテゴリで高い得点をあげました。

総合第3位、私立部門で第1位となった郡山女子大学(福島)は約10年で29%(629t)のCO<sub>2</sub>排出量削減を達成、高いエネルギー効率<sup>3</sup>、全消費電力のうち3.6%を賄う高い自然エネルギー導入率などが好成績につながりました。

<sup>3</sup>学生数当たりのエネルギー使用量などにより算出

**【環境対策実施状況】(290 点満点)**

順位	大学名	国公立	得点
1	東京大学	国立	254.5
2	千葉大学	国立	251.0
3	日本工業大学	私立	246.2

**■電力需要逼迫の中で進む、大学の節電・省エネ対策**

照明や空調などの各種省エネ・環境対策の実施状況を調査し、その結果を得点化した「環境対策実施状況」部門では東京大学（東京）が 290 点満点中 254.5 点を獲得し、部門別第 1 位となりました。同大学の本郷キャンパスは東京都の業務系事業所の中では最大の CO<sub>2</sub> 排出者となっており、状況打開に向けて総長の下に東大サステイナブルキャンパスプロジェクト（TSCP）室を設置して、学内で蓄積された研究成果を活用するなどしながら、様々な対策を実施しています。また、調査に回答した大学の調査時点（2011 年 7・8 月）での対策実施状況は、特に照明・空調の運用改善および啓発活動で前年度よりも改善が見られました。

**【自然エネルギー導入率】**

順位	大学名	国公立	全消費電力のうち自然エネルギーの占める割合%
1	東北公益文科大学	私立	6.16%
2	日本工業大学	私立	4.27%
3	郡山女子大学・同短期大学部	私立	3.61%

**■小規模私立大学で進む自然エネルギーの導入**

発電所の事故などをきっかけに電力供給の在り方をめぐる議論が注目を集める中、大学における自然エネルギーの導入状況も明らかになりました。全体の傾向として、導入率（全消費電力のうち独自に発電または購入した自然エネルギーの割合）の高い上位 10 校中 9 校が小規模（学生数 5000 人以下）、5 校が私立大学となり、小規模の私立大学で普及が進んでいることが分かりました。導入率が最も大きかった東北公益文化大学（山形）は、太陽電池モジュール 1872 枚（約 1900m<sup>2</sup>）を設置し、最大出力 250kw（一般家庭の約 100 世帯分）の電力をキャンパス内で利用しています。昨年同部門 1 位となった日本工業大学（埼玉）は、調査時点で全国の大学で最大となる 463kW の太陽光発電施設を導入しており、さらに来年春から追加分の 60kW を運用開始する予定です。

**その他の部門別順位**

**【エネルギー・CO<sub>2</sub> 部門】(500 点満点)**

1 位:愛知教育大学(246.1 点) / 2 位:福島大学(236.5 点) / 3 位:郡山女子大学(213.0)

**【環境マネジメント部門】(70 点満点)**

1 位:名古屋大学(70.0 点) / 2 位:千葉大学(61.0 点) / 3 位:三重大学(61.0)

**【学生との協働・教育部門】(140 点満点)**

1 位:三重大学(140.0 点) / 2 位:岩手大学(123.0 点) / 3 位:九州工業大学(122.0)

**【エネルギー・CO<sub>2</sub> 削減率部門】(150 点満点)**

1 位:福島大学(150.0 点) / 2 位:名古屋大学(115.0 点) / 3 位:札幌医科大学(102.0)

**【自然エネルギー導入率部門】(150 点満点)**

1 位:東北公益文科大学(93.0 点) / 2 位:日本工業大学(62.2 点) / 3 位:郡山女子大学(51.6)

**【他大学の担当者に参考にされている大学部門】(カッコ内は選ばれた大学数)**

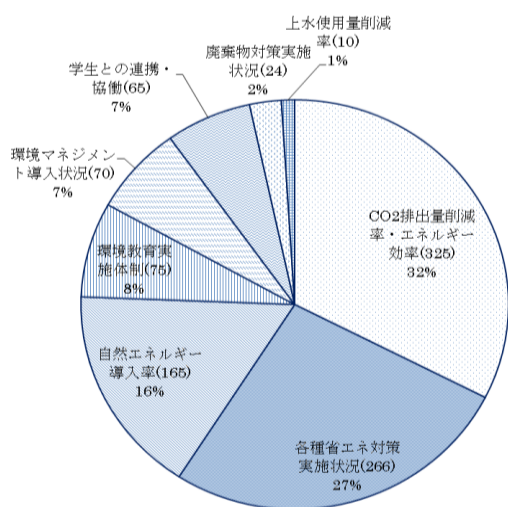
1 位:名古屋大学(8 校) / 2 位:千葉大学(6 校) / 3 位:東京大学(6 校)

## 全国大学環境対策実施状況一斉調査 2011 / 第3回エコ大学ランキング調査概要

- 【調査期間】 2011年7・8月（各種エネルギー使用量の数値については2010年度の実績値）
- 【調査項目】 エネルギー使用量、自然エネルギー導入量、環境対策実施率、組織体制、環境教育、学生との連携などに関する204項目
- 【調査方法】 対象大学に対してアンケート票を送付、回答内容を集計・分析
- 【調査対象】 国内744大学法人（大学院大学を含む）
- 【回答数】 172校 / 有効回答数：167校
- 【評価方法】 下記の4セクション、全98項目を1000点満点で評価

### 第3回エコ大学ランキング評価指標内訳（1000点満点）

No.	セクション名	配点	内容・評価基準
§ 1	エネルギー・CO2	500	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー使用量、およびCO2排出量削減率</li> <li>・エネルギー効率(学生1人あたり・延べ床面積あたりの使用量など)</li> <li>・自然エネルギー導入率 など</li> </ul>
§ 2	環境対策実施状況	290	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明、空調、断熱などの各種省エネ対策実施率</li> <li>・廃棄物対策実施状況 など</li> </ul>
§ 3	環境マネジメント	70	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門部署の設置</li> <li>・EMS導入状況</li> <li>・環境報告書の作成</li> <li>・他大学から参考にされているか など</li> </ul>
§ 4	学生との協働・教育	140	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境関連部局設置状況</li> <li>・意識啓発活動実施状況</li> <li>・学生活動の支援状況</li> <li>・学生との連携・協働状況 など</li> </ul>



なお、調査やランキングの詳細な結果は、12月に発行する「全国エコ大学白書 2011」に掲載する予定です。白書の入手方法については12月中旬に下記エコ・リーグHP上でご案内いたします。

### 【団体概要】

■エコ・リーグ（全国青年環境連盟） <http://el.eco-2000.net/>

1994年に設立した、若者の環境NGO。全国に300以上ある学生の環境サークルを緩やかにネットワークし、環境活動の底上げを行っている。

■キャンパスクライメートチャレンジ実行委員会 <http://ccc.eco-2000.net/>

エコ・リーグの実行委員会として、大学での省エネ、自然エネルギーの普及、啓発等のプロジェクトを展開。海外の同様の学生プロジェクトとも連携している。本事業は、平成22年度地球環境基金の助成を受け実施しています。

#### 【本件に関するお問い合わせ】

エコ・リーグ（全国青年環境連盟）CCC実行委員会 担当：上地・福島

TEL・FAX：03-5225-7206 E-mail：[ccc@eco-2000.net](mailto:ccc@eco-2000.net)

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂2-19 銀鈴会館507

■総合第一位：名古屋大学 施設管理部環境安全支援課 TEL：052-789-2093

■総合第二位：岩手大学 環境マネジメント推進室 TEL：019-621-6911

■総合第三位：郡山女子大学・同短期大学部 環境委員会 TEL：024-933-1955